

事業名称：但馬地域の多文化共生社会に向けたアートプロジェクト

団体名：特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお

1 事業内容

事業の名称 但馬地域の多文化共生社会に向けたアートプロジェクト

日時 2025年8月15日～2026年1月15日

場所 五荘コミュニティセンター、西花園会館、豊岡劇場、にほんご豊岡あいうえお事務所等

内容 多言語多文化を背景にした①オープンワークショップ、②多言語演劇の創作・発表の実施

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
8月15日	事業①打ち合わせ	オンライン	2名
8月17日	事業②ワークショップ1回目	あいうえお事務所	5名
8月18日	事業②ワークショップ2回目	西花園会館	8名
8月19日	事業①オープンワークショップ2回目	西花園会館	17名
8月26日	事業②ワークショップ3回目	西花園会館	11名（単発での参加者含む）
8月27日	事業②ワークショップ4回目	豊岡市社会福祉協議会	7名（単発での参加者含む）
9月15日	事業②ワークショップ5回目	五荘地区コミュニティセンター	6名
9月16日	事業②ワークショップ6回目	とど兵	11名（単発での参加者含む）
10月1日	事業②ワークショップ7回目	五荘地区コミュニティセンター	9名
10月2日	事業②ワークショップ8回目	五荘地区コミュニティセンター	9名
10月8日	事業②オンライン練習	オンライン	4名
10月14日	事業②オンライン練習	オンライン	7名
10月22日	事業②オンライン練習	オンライン	8名
10月28日	事業②オンライン練習	オンライン	6名
11月3日	事業②稽古	西花園会館	9名
11月5日	事業②稽古	五荘地区コミュニティセンター	8名
11月15日	事業②稽古	五荘地区コミュニティセンター	12名
11月16日	事業②ゲネプロおよび演劇公演「いくつもの言葉を生きる」	西花園会館・豊岡劇場	79名
11月26日	事業②スタッフ振り返り：事業評価、運営面の反省会	西花園会館・オンライン	3名
12月15日	事業①参加者振り返り1回目	西花園会館	8名
12月17日	事業①参加者振り返り2回目	西花園会館	6名

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

参加者の感想から、海外ルーツの仲間に刺激を受け、日本語学習や地域社会への参画意欲が向上した。来日後減少していた自己表現の機会を得ることで、学習者のエンパワーメントと自信の回復が見られた。中には地域社会へ主体的に関わる転機を語る参加者もいた。活動後も交流が続くなど、単なる事業を超えたコミュニティへと発展しており、移住者が地域で孤立しないための重要な「居場所」としての役割を確立した。演劇を通じ、日本語ボランティアなど団体メンバーが、文法や正確さに縛られず、表現そのものを尊重する姿勢へと変化した。

(2) 地域への波及

本プロジェクトは、演劇という表現手法を通じて多言語・多文化を背景に持つ住民同士が相互理解を深めることを目的に実施した。演劇を窓口にすることで、「多文化共生×舞台芸術」という事例は、従来の日本語教室イベント未経験層や県外からの参加も促すとともに、生活圏に根ざした広報により“多文化共生”に対して地域全体の関心を広げる一歩となった。

事業①オープンワークショップ「時間と場所を旅する」では、但馬地域の10代～60代が参加。記憶や経験を共有するプロセスを通じ、定住者と移住者が同じ地域に暮らす住民として対話する時間を通して地域の多様性を再発見する場を創出した。

事業②「いくつもの言葉を生きる」では、計16回の稽古を経て豊岡劇場で公演を実施。出演者が自身のルーツを語る姿は観客の心を動かし、アンケートでは半数以上が「共生社会に関わりたい」と回答するなど、相互理解に対する住民意識の変容があった。音や身体を駆使した非言語表現は、日本語の流暢さに頼らない平等な交流を実現し、参加者が一人の人間として自らの物語を表現したことは、属性を超えて対等に出会いなおす創造的な多文化共生の場を地域に生み出した。

3 協働の相手方

社協メディア「とよニコ」への記事掲載を通じ、活動の意義を広く発信した。また「とど兵」「豊岡劇場」といった地域の象徴的施設や「五荘地区コミュニティセンター」を拠点・稽古場として活用。公共・民間資源と密に連携し、地域社会に開かれた活動基盤を構築した。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

独自のワークショップやプログラムの制作を継続するとともに、それを地域社会に普及させるため、行政や地域関係者との持続的な協働の仕組みを構築していく。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

出演者の知人中心だった公演の来場層を広げるため、広報を強化し、継続を望む声に応え参加・対話型の機会を拡充する。今後は創作前から学校や地域へ出向き、交流の機会をプロセスに取り込み活動の裾野を広げていく。



R7/8/19 オープンワークショップの様子。
グループで個々の記憶にある景色を表現する。
場所：西花園会館



R7/11/15 公演前日の練習の様子
場所：五荘地区コミュニティセンター



R7/9/16 中間発表前のワークショップの様子。
場所：とど兵



R7/11/16 演劇公演「いくつもの言葉を生きる」
場所：豊岡劇場